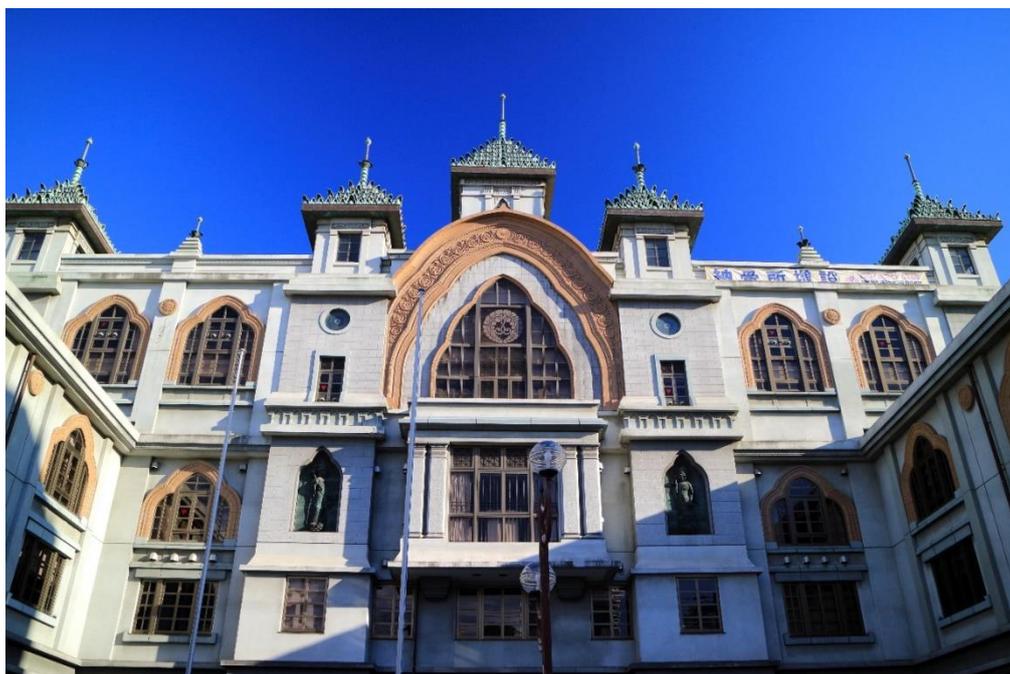


モダン寺 下山手通 8 丁目



通称モダン寺というこの寺は正式には浄土真宗本願寺派の本願寺神戸別院という。寺伝によれば桃山時代（16世紀末）、教祐和尚の開基であるという。もとは二ツ茶屋村の小さな庵であったのが、1639（寛永16）年に元町通6丁目あたりに道場を建て、その地名から一乗山と号し、良如上人が善福寺と名付けたのである。なお、1871（明治4）年、鉄道敷設の際に、その用地にあたるので現在地に移転した。1930（昭和5）年に、インドの仏教様式デザインの、モダンな本堂が建てられ、それ以後、善福寺というよりモダン寺という名の方が有名になってしまったのである。なお、1960（昭和35）年には本山直属となり、本願寺神戸別院の名称となった。

しかし、このモダン寺の建物も老朽化と手狭なため、建て替えが決まり、1993（平成5）年秋から建替工事を着工し、1995（平成7）年9月中旬に完成した。新しくなったモダン寺は、元の建物のイメージをできるだけ残す形で建てられている。

場所：神戸市中央区下山手通 8-1-1